

政策シート

(政策名) 超高齢社会への対応
(予算費目名) 老人福祉費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇関連するSDGsのゴール

①貧困	②飢餓	③保健	⑨イノベーション	⑩不平等					
-----	-----	-----	----------	------	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	2,932,055	2,701,274	2,761,111	2,275,294	2,271,239
決算	3,058,058	2,777,784	2,693,576	2,199,395	
人件費(A)	57,540	65,380	77,560	71,820	70,700
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	3,115,598	2,843,164	2,771,136	2,271,215	2,341,939

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
				目標	実績	目標	実績	目標
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男73.98 以上	目標	男73.08 女76.04	男73.18 女76.14	男73.28 女76.24	男73.38 女76.34	男73.48 女76.44
		女76.94 以上	実績	-	男73.19 女76.19	-	-	-
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り
第8次浜松市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(計画期間:平成30～令和2年度)の初年度として、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業					11,978	5,678	0.9				
2	高齢者施設運営事業		〇〇			348,768	334,908	1.9				0.2
3	民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)					553,186	551,506	0.2				0.1
4	敬老支援事業					274,123	262,643	1.4				0.6
5	シニアクラブ支援事業		〇〇			66,678	61,918	0.6				0.2
6	高齢者生活支援事業					30,067	27,967	0.1				0.5
7	高齢者生活支援ハウス事業					36,991	36,291	0.1				
8	認知症施策推進事業		〇〇〇			30,808	16,948	1.7				0.7
9	外国人高齢者福祉手当支給事業					2,948	2,248	0.1				
10	ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)					15,819	13,719	0.3				
11	養護老人ホーム入所事業					913,462	912,762	0.1				
12	老人福祉施設支援事業					25,271	22,471	0.4				
13	老人福祉施設整備費助成事業(補助金)	〇		〇		4,760		0.4				0.7
14	老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)					10,361	9,661	0.1				
15	高齢者住宅改造費助成事業(補助金)					7,400	6,700	0.1				
16	低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業				〇							
17	生活支援活動の場づくり事業(補助金)					3,200	2,500	0.1				
18	国庫支出金等精算返還金				〇							
19	(新規)福祉避難所体制整備事業					2,400	300	0.3				
20	高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)					3,719	3,019	0.1				
21												
22												
23												
24												
25												
計						2,341,939	2,271,239	8.9				3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業

◇事業目的・事業対象

老人福祉法に基づく高齢者保健福祉計画及び介護保険法に基づく介護保険事業計画を「はままつ友愛の高齢者プラン」として一体的に策定し、高齢者保健福祉施策を推進する。

◇事業の概要

平成29年度に策定した第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(計画期間:平成30～令和2年度)の進捗を管理する。
令和元年度は、計画策定のための基礎資料とするため実態調査(アンケート調査)を実施する。
令和2年度は、次期「はままつ友愛の高齢者プラン」(令和3年度～5年度)を策定する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、介護保険法	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		5,523	2,950		5,678
	決算		5,211	2,642		
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源		5,211	2,642		5,678
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		5,600	8,400	9,100	5,600	6,300
人工	正規	0.8	1.2	1.3	0.8	0.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8、3.d	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

総合的な計画として、「浜松市高齢者保健福祉計画」及び「浜松市介護保険事業計画」を一体的に策定し、高齢者に関する各種の保健福祉事業や介護保険制度の円滑な実施を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
健康寿命の延伸(歳)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	男73.08 女76.04	男73.18 女76.14	男73.28 女76.24	男73.38 女76.34	男73.48 女76.44	男73.78 女76.74	男73.98以上 女76.94以上
実績値	—	男73.19 女76.19	—	—			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

平成29年度に策定した第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(計画期間:平成30~令和2年度)の進捗を管理する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

平成29年度に策定した第8次高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(計画期間:平成30~令和2年度)の進捗を管理した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

平成30年度は計画の進捗管理のみで、具体的な事業は実施していない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和元年度は次期計画策定にあたり、施策の主な対象者となる高齢者の生活状況や介護保険サービスに対する意向等を把握し、施策の方向性や内容を決定付ける基礎資料を得る必要があるため、実態調査(アンケート調査)を行う。

事業シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の心身の健康維持・増進を図るため、地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等に定める「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」等を設置し運営する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.120】

【老人福祉センター】12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、
舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘

【介護予防拠点施設】4施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施
舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、水窪高齢者交流センター

【その他】

施設整備事業、施設用地管理事業、高齢者の福祉避難所に関すること

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、浜松市老人福祉センター条例 等	—	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	360,102	344,265	329,107	341,668	334,908
	決算	353,849	337,845	322,830	336,316	
	国・県支出			2,469	1,634	
	市債					
	その他	23,187	21,000	13,163	9,753	8,697
	一般財源	330,662	316,845	307,198	314,885	326,211
一般会計繰入金					10,044	
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		5,600	7,000	7,280	13,860	13,860
人工	正規	0.8	1.0	1.0	1.9	1.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			0.1	0.2	0.2

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

令和2年(2020年)4月から老人福祉センターなどを高齢者のみを対象とした施設から、高齢者向けの機能を継続するとともに、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換することから、一部の施設において長寿命化、UD化工事を実施する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
利用者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値	473,000	477,000	481,000	500,000	505,000	372,000		378,000
実績値	478,364	451,263	456,130	436,171				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
ふれあい交流センターへ転換 R1: R2~4年度事業者の選定 R2: 転換、運営 R3年以降は利用者数を指標に設定予定								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値					事業者選定	—		—
実績値								120
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		R6
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

<p>【老人福祉センター】12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施 湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、 舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘</p> <p>【介護予防拠点施設】4施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施 舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、水窪高齢者交流センター</p> <p>【その他】 施設整備事業、施設用地管理事業</p>

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 計画通り</p> <p>地域の高齢者の生きがい活動の拠点として、老人福祉法等の定めによる「老人福祉センター」、「介護予防拠点施設」を管理運営した。</p> <p>①老人福祉センター 12施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施 湖東荘、江之島荘、湖南荘、竜西荘、萩原荘、可美荘、いたや、青龍荘、浜北高齢者ふれあい福祉センター、 舞阪老人福祉センター、雄踏老人福祉会館さつき荘、雄踏老人福祉会館つつじ荘</p> <p>②介護予防拠点施設 4施設 主な事業内容: 高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施 舞阪シニアプラザ陽だまり、細江介護予防センター、浜北生きがいデイサービスセンター、 水窪高齢者交流センター 施設利用者数436,171人</p> <p>③その他 施設整備事業、施設用地管理事業</p>
--

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

高齢者の各種相談、教養講座の開催、レクリエーションの実施により、高齢者の教養の向上、健康の維持・増進に貢献した。公共サービスとしての必要性を明確にしたうえで、原則として、民間移管、統廃合、他施設との複合化、他の公共・民間施設の活用などの検討を行うため、老人福祉センター実態調査を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

令和2年(2020年)4月から老人福祉センター等を高齢者のみを対象とした施設から、高齢者向けの機能を継続するとともに、子育て世代も利用できる「ふれあい交流センター」へ転換する。(これに伴い、R6年度の利用者数目標値を修正)

補助シート (事業名) 高齢者施設運営事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
120	新施設開設に向けた準備 ・条例制定 ・授乳室等の施設整備 ・市民への周知 ・指定管理者の選定	4月、新施設開設	R5からの次期指定管理に向け、運営等の課題の再検討	R5からの次期指定管理に向け、運営等の課題の再検討

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 民間軽費老人ホーム助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

低額な料金で家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を入所させ、日常生活上必要な便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を送れるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。
 施設数:16施設
 定員:798名

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市立軽費老人ホーム条例、軽費老人ホーム入所者負担軽減補助金交付要綱ほか	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	545,660	545,979	540,860	550,512	551,506
	決算	534,816	544,353	540,001	540,856	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	534,816	544,353	540,001	540,856	551,506
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		2,100	2,100	2,380	2,380	1,680
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			0.1	0.1	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

低額な料金で家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を入所させ、日常生活上必要な便宜を供与し、高齢者が健康で明るい生活を送れるようにする。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
助成対象者数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	798	798	798	798	798	798	798
実績値	773	772	770	773			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助する。

施設数:16
定員:798名

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対し、社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額を補助した。

施設数:16
定員:798名

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対する社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額の補助について計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・軽費老人ホームを設置運営する社会福祉法人等に対する社会福祉法人等が実施する入所者の負担軽減額相当額の補助について計画どおり実施する。

事業シート (事業名) 敬老支援事業

◇事業目的・事業対象

長寿を祝い敬老思想の高揚、高齢者福祉の増進を図る。

◇事業の概要

1. 敬老祝金品の贈呈

長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。

(1) 敬老祝金

年度内88歳到達者(10,000円)、年度内100歳到達者(30,000円)

(2) 敬老祝品

年度内100歳到達者(額入り市長寿詞)

2. 敬老会等開催費補助金の交付

敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S43	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市敬老会等開催費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	253,799	262,402	256,689	254,396	262,643
	決算	252,705	261,173	253,983	252,472	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	252,705	261,173	253,983	252,472	262,643
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		9,100	9,100	11,900	11,200	11,480
人工	正規	1.1	1.1	1.5	1.4	1.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

敬老祝金品の贈呈等とおして、高齢者に健康で長生きしていただけるよう意識づけることに繋がり、福祉を促進する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
敬老会出席率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	40	40	40	40	40	46	50	
実績値	35.3	36	35.5	35.3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- 敬老祝金品の贈呈
長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈する。
(1) 敬老祝金
年度内88歳到達者(10,000円)、年度内100歳到達者(30,000円)
(2) 敬老祝品
年度内100歳到達者(額入り市長寿詞)
- 敬老会等開催費補助金の交付
敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- 敬老祝金品の贈呈(H31.3末現在)
長寿者に祝意を表すため、地域の自治会等を通じて、敬老祝金及び敬老祝品を贈呈した。
(1) 敬老祝金
・88歳到達者(10,000円) 贈呈者数:4,127人 ・100歳到達者(30,000円) 贈呈者数:226人
(2) 敬老祝品
・100歳到達者(額入り市長寿詞) 贈呈者数:192人
- 敬老会等開催費補助金の交付
・敬老会を開催する自治会等に対して、対象者1人につき2,000円を限度として補助金を交付した。
補助金申請者数:103,225人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

敬老会等を開催した自治会等に対する補助金の交付について、対象年齢を75歳から76歳へ引き上げた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・【敬老会等開催費補助金】

- ・はままつ友愛の高齢者プランに基づき、H30年度から敬老会等開催費補助金の見直しを実施。
(内容)対象年齢をH30年度に75歳から76歳へ、R1年度に76歳から77歳へ引き上げる。

事業シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇事業目的・事業対象

高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与するシニアクラブ(老人クラブ)について、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援という観点から、その活動の実施及び推進を支援する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.24】

シニアクラブ活動の支援を行う。

- シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
- 単位老人クラブに対する活動支援
 - 活動費の助成
 - 高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。
- シルバーサポート事業(平成28年度から事業統合)
 - シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行う。
 - シルバーサポーター養成講座の開催
 - シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S39	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市老人クラブ活動費補助金交付要綱等	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	59,805	61,177	61,903	61,951	61,918
	決算	57,705	59,231	59,941	59,269	
	国・県支出	19,625	19,604	19,600	19,627	19,597
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	38,080	39,627	40,341	39,642	42,321
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		4,200	4,480	4,480	3,780	4,760
人工	正規	0.6	0.6	0.6	0.5	0.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤		0.1	0.1	0.1	0.2

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.d	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

シニアクラブ(老人クラブ)の活動を支援することにより、高齢者の生きがいと健康づくりに資する活動・事業を展開し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に寄与する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
シニアクラブ加入者率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	10	10	10	10	10	10	10	
実績値	9.2	9	8.9	8.6				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
シルバーサポーター派遣回数(回)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	155	160	165	170	170	179	185	
実績値	136	137	121	116				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

シニアクラブ活動の支援を行う。

- シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付する。
- 単位老人クラブに対する活動支援
 - 活動費の助成
 - 高齢者の作品展開催事業
高齢者の日ごろの学習成果を発表することにより、生きがいづくりの推進を図るため、作品展を開催する。
- シルバーサポート事業(平成28年度から事業統合)
 - シルバーサポーターの派遣
シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行う。
 - シルバーサポーター養成講座の開催
 - シルバーサポーターフォローアップ講座の開催

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

シニアクラブ活動の支援を行った。

- シニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に対する活動支援
高齢者福祉の推進に寄与するシニアクラブ浜松市(浜松市老人クラブ連合会)に補助金を交付した。
- 単位クラブに対する活動支援(H31.3末現在)
 - シニアクラブ活動を行う単位クラブに対して交付金を交付した。
クラブ数:417クラブ 会員数:22,914人
 - 高齢者の生きがいづくりを図るため、作品展を開催した。
開催日:H30.11.8~11.12(5日間) 出品数:242点
- シルバーサポート事業(H31.3末現在)
 - シニアクラブ及びシニアクラブ結成可能な組織にシルバーサポーターの派遣を行った。
派遣回数:116回 延参加者数:2,764人

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市役所市民ロビーでのシニアクラブ活動啓発ポスター掲載等により、シニアクラブ加入促進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・高齢者の作品展にて多くの作品を募集するため7月頃からシニアクラブへの開催要領周知を図る。
- ・協議会機能が形骸化しているシルバーサポート連絡協議会の廃止を検討する。

補助シート (事業名) シニアクラブ支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
24	1.シニアクラブ浜松市 (浜松市老人クラブ連 合会)に対する活動支援 2.単位老人クラブに対 する活動支援 3.シルバーサポート事業 ・シルバーサポーター の派遣 ・シルバーサポーター 養成講座の開催 ・シルバーサポーター フォローアップ講座の開 催	1.シニアクラブ浜松市 (浜松市老人クラブ連 合会)に対する活動支援 2.単位老人クラブに対 する活動支援 3.シルバーサポート事業 ・シルバーサポーター の派遣 ・シルバーサポーター 養成講座の開催 ・シルバーサポーター フォローアップ講座の開 催	1.シニアクラブ浜松市 (浜松市老人クラブ連 合会)に対する活動支援 2.単位老人クラブに対 する活動支援 3.シルバーサポート事業 ・シルバーサポーター の派遣 ・シルバーサポーター 養成講座の開催 ・シルバーサポーター フォローアップ講座の開 催	1.シニアクラブ浜松市 (浜松市老人クラブ連 合会)に対する活動支援 2.単位老人クラブに対 する活動支援 3.シルバーサポート事業 ・シルバーサポーター の派遣 ・シルバーサポーター 養成講座の開催 ・シルバーサポーター フォローアップ講座の開 催

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 高齢者生活支援事業

◇事業目的・事業対象

在宅のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等に対して、日常生活上のサービスを行うことにより、自立した生活を支援する。

◇事業の概要

- ① 高齢者配食サービス事業
 - ・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ② 日常生活上の軽度援助事業
 - ・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S50	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者地域支援事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	31,113	30,391	28,544	27,852	27,967
	決算	26,577	25,761	25,039	25,403	
	国・県支出					
	市債					
	その他	654	553	440	440	549
一般財源		25,923	25,208	24,599	24,963	27,418
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		2,940	3,080	2,800	2,800	2,100
人工	正規	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.3	0.6	0.5	0.5	0.5

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	○ 10.2, 10.4
② 飢餓	○ 2.1	⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

高齢者配食サービス事業、日常生活上の軽度援助事業はいずれも、身体的・経済的な日常生活上の不安を抱える高齢者の在宅生活能力の強化を図り、いずれの高齢者も自立した生活を等しく継続できるようにすることを旨とするものである。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
配食サービス延利用食数(食)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	81,500	83,100	84,400	85,400	86,100	86,700	87,100	
実績値	72,830	70,670	69,059	70,016				
軽度生活援助員延派遣回数(回)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1,325	1,350	1,375	1,400	1,425	1,545	1,625	
実績値	1,211	1,116	907	898				
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ①高齢者配食サービス事業
 - ・ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行う。
- ②日常生活上の軽度援助事業
 - ・簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①高齢者配食サービス事業(H31.3末現在)
 - ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に食事を配食し、あわせて高齢者の安否確認を行った。
 - 配食数: 70,016食(社会福祉法人: 11,164食、民間事業者: 58,852食)
- ②日常生活上の軽度援助事業(H31.3末現在)
 - 簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行うため、月8時間を上限として援助員を派遣した。
 - 派遣時間数: 1,484時間(中山間地域以外: 1,389時間、中山間地域: 95時間)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・【高齢者配食サービス事業】ひとり暮らし等で虚弱な高齢者に対する食事の配食と安否確認について、計画どおり実施した。また、中山間地域において、緩和された委託条件による応募を受け付け、新規に1事業者の応募に結びついた。一方、配食回数の見直しなど市内全域に係る事業拡大の検討は進んでいない。
・【日常生活上の軽度援助事業】簡単な庭の手入れなど日常生活上の軽度な援助を行う援助員の派遣について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

【高齢者配食サービス事業】中山間地域では引き続き民間事業者の参入に対する委託条件の緩和を継続するとともに、地域限定でボランティアによる配食活動の導入支援など検討を行う。また、市内全域での配食サービスに対するニーズに応えるため、引き続き配食回数の増加など事業対象の拡大を検討する必要がある。
【日常生活上の軽度援助事業】地区社協等による類似の民間・住民主体サービスの実施状況に注視しながら、事業を継続して実施していく。

事業シート (事業名) 高齢者生活支援ハウス事業

◇事業目的・事業対象

高齢者に対して、介護支援、住居及び交流機会を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とする。

◇事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)
定員 36名
市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H15	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市生活支援ハウス運営事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	36,836	36,848	37,044	32,160	36,291
	決算	35,086	35,306	35,188	29,171	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	35,086	35,306	35,188	29,171	36,291
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

高齢者に対して、介護支援機能、住居機能及び交流機能を総合的に提供することにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
利用定員(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	51	51	51	51	36	36	36	
実績値	51	51	51	36				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
利用率(延利用日数÷(定員×年間日数)) (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	50	50	50	50	50	50	50	
実績値	53.4	57	58	59				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)

定員 36名

市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営する。

※4施設のうち1施設について、平成30年10月、施設の一部を生活支援ハウスから特別養護老人ホームに転換したことにより、定員が減となった。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

施設数 4箇所(市内の社会福祉法人4法人に委託)

定員 36名

市内に居住する、原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が、原則として3ヶ月を限度として利用できる「生活支援ハウス」を設置運営した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・市内に居住する原則として要介護度1以下のひとり暮らし高齢者等のうち、独立して生活することが困難な者が利用できる生活支援ハウスの設置運営について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・一人暮らしに不安のある高齢者の一時的な待機場所としての役割を果たしている一方で、利用の長期化や稼働率の低下が課題となっている。山間部にある施設の運営法人から、地域の課題を解消するため、生活支援ハウスの拡充の要望が寄せられていることも考慮し、利用状況等を踏まえながら令和元年度での見直しを目指す。

事業シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇事業目的・事業対象

認知症に対する理解を深める広報・啓発とともに、認知症の高齢者が地域の中で生活するための支援者を養成することで、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進める。また、認知症高齢者に対する早期発見・早期治療を図るとともに、地域で認知症の人を支えるための支援体制の充実・強化を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.43】【R1-R4重点戦略項目 No.99】

- (1) 予防(重度化防止)
 - ・認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストの配付
- (2) 早期発見・早期対応
 - ・認知症ケアパス(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス))の配付
 - ・基幹型認知症疾患医療センターの運営支援
 - ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成
- (3) 本人・家族支援
 - ・認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成・活動支援
 - ・認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成
- (4) 普及・啓発
 - ・認知症に関する講演会の開催や認知症に関する啓発パンフレット配布

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	15,503	12,993	12,550	12,419	16,948
	決算	13,537	10,926	10,228	10,625	
	国・県支出	6,010	5,481	5,122	5,313	8,377
	市債					
	その他					
	一般財源	7,527	5,445	5,106	5,312	8,571
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		9,100	12,320	16,380	15,540	13,860
人工	正規	1.1	1.2	2.1	1.9	1.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	1.4	0.6	0.8	0.7

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.d	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

認知症高齢者に対する早期発見・早期対応を図るとともに、地域で認知症の人を支えるための支援体制の充実・強化を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
認知症サポーター養成人数・単年度(人)					-		-	99
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3,500	3,500	3,500	4,500	4,600	4,820	4,940	
実績値	4,647	4,330	5,343	4,118				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
認知症サポート医養成累計人数(人)					-		43	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	26	34	41	53	58	65	68	
実績値	27	37	48	63				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
認知症チェックリストの配布数・単年度(人)					-		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	66,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,500	6,000	
実績値	10,000	3,000	3,000	2,000				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.43】

- (1) 予防(重度化防止)
 - ・認知症の早期発見、早期受診を目的とした自己チェックリストの配付、認知症予防のためのハンドブック作成
- (2) 早期発見・早期対応
 - ・認知症ケアパス(認知症のステージにあわせて利用できる地域の社会資源(ケアパス))の配付
 - ・基幹型認知症疾患医療センターの運営支援
 - ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成
- (3) 本人・家族支援
 - ・認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバン・メイトの養成・活動支援
 - ・認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成
- (4) 普及・啓発
 - ・認知症に関する講演会の開催や認知症に関する啓発パンフレット配布

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- (1) 予防・重度化防止(H31.3末現在)
 - ・認知症気づきチェックシートの印刷・配布:2,000部
- (2) 早期発見・早期治療(H31.3末現在)
 - ・認知症ケアパスの印刷・配付:3,000部
 - ・認知症疾患医療センターの運営支援
 - ・認知症サポート医の養成:16人、認知症サポート医リーダー研修:12人 かかりつけ医の養成:新規受講24人
- (3) 本人・家族支援(H31.3末現在)
 - ・認知症サポーターの養成 養成人数:4,118人
- (4) 普及・啓発
 - ・認知症に関する講演会の開催:1回162人参加 認知症に関する啓発パンフレット等作成 3,000部

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画どおり事業を実施した。認知症講演会では認知症本人からの講演を盛り込み本人の視点を重視した講演とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・計画に基づく事業を実施するとともに、図書館や協働センターと協力し認知症サポーター養成講座の新たな開催方法について検討する。

補助シート (事業名) 認知症施策推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
99	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
43	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル検証 ・チェックリストの作成 ・ケアパスの作成 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの作成 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストの配布 ・ハンドブックの配布 ・ケアパスの配付 ・認知症疾患医療センター運営支援 ・認知症サポート医・かかりつけ医の養成 ・キャラバン・メイトの養成・活動支援 ・サポーターの養成

事業シート (事業名) 外国人高齢者福祉手当支給事業

◇事業目的・事業対象

公的年金を受給できない外国人高齢者に対し福祉手当を支給し、福祉の増進を図る。

◇事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市外国人高齢者福祉手当規則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,300	3,036	2,640	2,380	2,248
	決算	2,926	2,398	2,288	2,226	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,926	2,398	2,288	2,226	2,248
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困	○ 1.3	⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健	○ 3.8	⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

国民年金制度の適用から除外され、国民年金を受給することができない外国人高齢者の救済及び福祉の増進に寄与する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
支給人数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値	26	23	20	20	20	20	20	
実績値	23	18	18	17				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

下記の支給要件すべてを満たす方に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給する。

- ①浜松市に住民として登録をし、1年以上継続して浜松市に在住している者
- ②出入国管理及び難民認定法による永住許可を受けている者
- ③厚生年金その他公的年金を受給していない者
- ④国民老齢基礎年金の所得条件に準ずる経済状況にある者
- ⑤昭和8年4月1日以前に生まれた者

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

対象者に対し、月額1万1千円、年間13万2千円を年3回(8月、12月、4月)に分けて4万4千円ずつ支給した。

支給人数:17人(H31.3末現在)

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・対象者に対する外国人高齢者福祉手当の支給について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・支給要件に出生年月日を設定しており、対象者は減少している。
- ・対象者がいなくなるまで制度は継続する。

事業シート (事業名) ねんりんピック選手選考派遣支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

高齢者の健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与することを目的として開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック)へ浜松市選手団を派遣する。

◇事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

令和元年度:和歌山県 令和2年度:岐阜県 令和3年度:神奈川県 令和4年度:愛媛県

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	一般会計	自治事務(法令義務)	全国健康福祉祭開催要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	11,414	15,063	15,067	12,593	13,719
	決算	7,270	12,634	10,892	10,476	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	7,270	12,634	10,892	10,476	13,719
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		3,500	1,400	1,400	1,400	2,100
人工	正規	0.5	0.2	0.2	0.2	0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

高齢者の健康保持、増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、福祉を促進する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
開催種目における派遣種目の割合(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	100	100	100	
実績値	88	85	73	74				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

政令指定都市については、国の要綱により選手の選考・派遣を行うことが規定されていることから、選手選考・派遣等の業務を行う。

<開催予定(決定分)>

平成30年度:富山県 令和元年度:和歌山県 令和2年度:岐阜県 令和3年度:神奈川県 令和4年度:愛媛県

・事業の成果と課題

指標の達成度

富山大会への選手選考・派遣等の業務を行った。

派遣種目:20種目・126人

美術展出品数:6部門12点

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・H28年度から、実行委員会事務局業務を委託化し、人工の削減及び業務の効率化を図った。
- ・また、H28年度の委託業務実施結果を踏まえて、H29年度には全国健康福祉祭浜松市実行委員会事務局を廃止し、業務内容の見直しを図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・令和元年度においても、選手選考・派遣業務を委託により実施する。

事業シート (事業名) 養護老人ホーム入所事業

◇事業目的・事業対象

老人福祉法の規定に基づき、65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させ、入所者が自立した日常生活を営むことができるようにする。

◇事業の概要

65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させる。
負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分がある。

市内 6施設 定員420人
組合立 1施設 定員50人
その他市外施設有り

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S38	—	一般会計	法定受託事務	老人福祉法、浜松市老人福祉法施行細則	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,006,422	941,244	936,922	930,444	912,762
	決算	912,170	902,990	901,880	890,698	
	国・県支出					
	市債					
	その他	169,056	167,586	166,356	163,366	168,943
	一般財源	743,114	735,404	735,524	727,332	743,819
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		1,400	1,400	1,400	1,400	700
人工	正規	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ入所させ、健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市内施設入所定員合計数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	420	420	420	420	420	420	420	
実績値	420	420	420	420				
-								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させる。
負担金は、本人の収入に応じた額を算定し、本人から徴収する本人分と、入所前に親族が本人を扶養していた場合は、主たる扶養義務者として所得から負担金額を算定して徴収する扶養義務者分がある。

市内 6施設 定員420人
組合立 1施設 定員50人
その他市外施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させた。

被措置者数399人 延被措置者数:4,681人

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者を養護老人ホームへ入所させた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・65歳以上の高齢者で環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な者について、引き続き養護老人ホームへ入所させる。

事業シート (事業名) 老人福祉施設支援事業

◇事業目的・事業対象

経済的事情や家庭環境などにより、居宅で生活することが困難な高齢者が入所する養護老人ホームの運営を支援し、円滑な運営と入居者への適切な処遇を図る。

◇事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>

加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか管理組合負担金>

養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市養護老人ホーム入所者処遇改善事業費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	21,436	19,664	20,781	21,491	22,471
	決算	17,270	16,381	18,335	20,457	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	17,270	16,381	18,335	20,457	22,471
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		2,100	2,100	2,100	2,100	2,800
人工	正規	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

環境上の理由及び経済的な理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームへ入所させ、健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
助成対象施設数(か所)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	7	7	7	7	7	7	7	
実績値	7	7	7	7				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行う。

<養護老人ホームとよおか支援事業>
養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

<養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業(補助金)>
加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対して必要な助成を行った。

対象施設数:6施設

<養護老人ホームとよおか支援事業>
養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合(養護老人ホームとよおか管理組合)に対して、経費の応分の負担を行った。

対象施設数:1施設

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・【養護老人ホーム入所者処遇改善費助成事業】加配職員による入所者への適切な処遇の促進、また障がいのある人の受け入れの円滑化を図るため、浜松市内6か所の養護老人ホームに対する助成を計画どおり実施した。
- ・【養護老人ホームとよおか支援事業】養護老人ホームを設置・運営している一部事務組合（養護老人ホームとよおか管理組合）に対する応分の負担の執行について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・利用規模や待機者数、必要性について調査研究を進め、補助制度のあり方を検討する。
- ・養護老人ホームとよおかについては、指定管理3年目（R2年度）において、管内養護老人ホーム入所状況や措置者数の状況をふまえ、R5～R9年度における運営方針を検討する。

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅での生活が困難な高齢者の生活場所を確保するため、老人福祉施設の整備を推進する。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.44】

＜老人福祉施設整備費助成事業(特養補助金)＞

・H28年度およびH29年度の特別養護老人ホーム入所待機者調査の結果を踏まえ、H30年度からの3か年については整備しないこととする。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務(その他)	老人福祉法、介護保険法	○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	534,500	377,793	451,293		
	決算	804,500	531,000	449,777		
	国・県支出			7,277		
	市債	705,400	405,200	295,000		
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	99,100	125,800	147,500		
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		8,400	9,100	12,040	5,460	4,760
人工	正規	1.2	1.3	1.4	0.5	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			0.8	0.7	0.7

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進することにより、在宅での生活が困難な高齢者へ生活場所を提供および健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
特別養護老人ホームの定員(人)					-		44	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	4,137	4,486	4,736	5,000	5,000	5000	5,000	
実績値	4,137	4,486	4,746	4,918				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
入所待機者のうち在宅重度者(人) ※各年8月1日現在					Ⅲ-3(2)ア		-	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	266	177	89	0	0	0	0	
実績値	409	308	326	260				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.44】
特別養護老人ホームの創設又は増築を行う社会福祉法人に対し、施設整備に係る経費を対象として補助金を交付し、施設の整備を推進した。

【特別養護老人ホーム】 ※平成29年度整備施設

- ・(福)大地 細江の苑 90床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)朋友会 鶴寿の里 50床創設 + ショートステイ10床
- ・(福)慈恵会 あづきもち 20床増設

※平成28~29年度整備施設 (福)奥山老人ホーム 引佐みやまの里 70床創設 + ショートステイ10床

<既存高齢者施設の防犯対策強化事業(H28からの繰越事業)>

入所者や職員の安全を確保するため、防犯カメラ等の設置等の必要な安全対策に要する経費を助成した。

事業希望施設数:17施設

・事業の成果と課題

指標の達成度

達成

H28年度およびH29年度の特別養護老人ホーム入所待機者調査の結果を踏まえ、H30年度からの3か年については整備しないこととしたことから、実施事業なし。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業実施なし

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・H28年度およびH29年度の特別養護老人ホーム入所待機者調査の結果を踏まえ、H30年度からの3か年については整備しないこととしている。

補助シート (事業名) 老人福祉施設整備費助成事業(補助金)

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
44	特別養護老人ホーム整備床数 349床	特別養護老人ホーム整備床数 250床	特別養護老人ホーム整備床数 230床	特別養護老人ホーム整備床数 0床

事業シート (事業名) 老人福祉施設整備償還費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

社会福祉法人の老人福祉施設整備に伴う借入金の元利償還金の一部を助成し、安定した運営と施設福祉サービスの充実を図る。

◇事業の概要

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

(浜北)	・(福)大善福祉会	多喜の園(特養増築)
	・(福)天竜厚生会	しんぱらの家(特養創設)
	・(福)聖隷福祉事業団	浜北愛光園(特養増築)
(佐久間)	・(福)さくま	さくまの里(特養増築)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	H37	一般会計	自治事務(その他)	浜松市社会福祉施設整備償還費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	21,683	18,458	9,835	9,749	9,661
	決算	21,682	18,457	9,834	9,748	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	21,682	18,457	9,834	9,748	9,661
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

※関連するゴールなし

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行う。

- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| (浜北) | ・(福)大善福祉会 | 多喜の園(特養増築) |
| | ・(福)天竜厚生会 | しんばらの家(特養創設) |
| | ・(福)聖隷福祉事業団 | 浜北愛光園(特養増築) |
| (佐久間) | ・(福)さくま | さくまの里(特養増築) |

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、整備に要した借入金の償還補助を行った。

- | | | |
|-------|-------------|--------------|
| (浜北) | ・(福)大善福祉会 | 多喜の園(特養増築) |
| | ・(福)天竜厚生会 | しんばらの家(特養創設) |
| | ・(福)聖隷福祉事業団 | 浜北愛光園(特養増築) |
| (佐久間) | ・(福)さくま | さくまの里(特養増築) |

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 合併前の浜北・佐久間において特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対する借入金の償還補助について、計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ 合併調整方針に基づき、対象事業の償還完了まで継続して実施する。
・ 対象事業の償還が完了し次第、事業を廃止する(R7年度完了予定)。

事業シート (事業名) 高齢者住宅改造費助成事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

在宅の高齢者が安全で安心して日常生活を送れるように、住宅設備を改造することにより高齢者の自立の助長やその家族介護者の負担の軽減を図る。

◇事業の概要

60歳以上の在宅の高齢者が容易に日常生活を送れるように住宅設備を改造するために必要な経費に対し補助する。

【対象者と助成額】

- 対象者 次の要件のすべてに該当する者
- ・要支援1、2または要介護1～5であって、60歳以上の者
 - ・市県民税非課税の世帯に属していること
 - ・市税を完納している世帯に属していること
 - ・改造する家屋に現に生活し、改造する家屋を住所地としていること

助成額 工事費(対象経費)の2分の1以内で、75万円を限度(中山間地域については、100万円)

【対象となるもの】

手すりの取付け、段差の解消など既存住宅の住宅設備を在宅の高齢者に適するように改造するために必要な経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H7	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市高齢者住宅改造費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	26,000	17,000	16,000	5,880	6,700
	決算	14,328	10,539	12,860	3,328	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	14,328	10,539	12,860	3,328	6,700
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

本事業は、身体的・経済的に日常生活上の不安を抱える高齢者の在宅生活基盤の強化を図り、いずれの高齢者も自立した生活を等しく継続できるようにすることを目指すものである。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
申請(助成)件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値	52	53	54	55	15	15	15	
実績値	40	29	40	10				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

60歳以上の在宅の高齢者が容易に日常生活を送れるように住宅設備を改造するために必要な経費に対し補助する。

【対象者と助成額】

対象者 次の要件のすべてに該当する者

- ・要支援1、2または要介護1～5であって、60歳以上の者
- ・市県民税非課税の世帯に属していること
- ・市税を完納している世帯に属していること
- ・改造する家屋に現に生活し、改造する家屋を住所地としていること

助成額 工事費(対象経費)の2分の1以内で、75万円を限度(中山間地域については、100万円)

【対象となるもの】

手すりの取付け、段差の解消など既存住宅の住宅設備を在宅の高齢者に適するように改造するために必要な経費

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

60歳以上の心身状況等により住宅を改造する必要があると認められる高齢者が、容易に日常生活を送れるように住宅設備を改造する場合の費用の一部を助成した。

助成件数(H31.3末現在): 10件

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・H30から対象者および補助率等の見直しを実施したが、補助対象の厳格化・補助率の縮小をもたらす形となったため、補助申請者の減につながっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・H30から適用を始めた対象者および補助率等を継続し、要綱に基づき、適正に補助金を執行する。

事業シート (事業名) 低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業【完了】

◇事業目的・事業対象

中山間地域において、心身の状況や地理的な理由、経済的理由等により自立した生活を送ることが困難な高齢者が住み慣れた地域の拠点エリアで安心して継続的に暮らせるよう、空き家等の活用による住居の確保や日常生活上の支援など、地域における支援体制を構築する。

◇事業の概要

- (1)支援対象 心身の状況等により現在の居宅での生活が困難な低所得高齢者等
 (2)実施箇所 天竜区龍山町地内を予定
 (3)事業内容 ・支援ネットワーク整備(地区社協、高齢者相談センター、民生委員、NPO、サービス事業所などの地域団体)
 ・生活実態の調査による対象者の把握
 ・移転支援(空き家情報等の収集、改修、相談、入居支援など)
 ・生活支援(定期的な訪問による見守り、家事支援など)
 (4)委託先 社会福祉法人

※H26年度国庫補助事業として創設

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H28	H30	一般会計	自治事務(その他)	低所得高齢者等住まい・生活支援モデル事業実施要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		5,106	5,106	5,106	
	決算		2,954	5,106	5,106	
	国・県支出		2,954	5,106	5,106	
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)			700	700	700	
人工	正規		0.1	0.1	0.1	
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.3	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

低所得高齢者等であって、社会的なつながりによる支援が乏しいなどの理由により地域での居住を継続することが困難となっている者が、できるだけ安定的・継続的に地域生活を営むことができるよう、市、社会福祉法人、NPO法人等が居住の場の確保(空き家等の活用)や日常生活上の支援を行うなどの地域における支援体制の構築を目的とする。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1)支援対象 心身の状況等により現在の居宅での生活が困難な低所得高齢者等
(2)実施箇所 天竜地域
(3)事業内容 ・支援ネットワーク整備(地区社協、高齢者相談センター、民生委員、NPO、サービス事業所などの地域団体)
・生活実態の調査による対象者の把握
・移転支援(空き家情報等の収集など)
(4)委託先 社会福祉法人 天竜厚生会

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・H30年度では、H29年度、H28年度に引き続き、支援ネットワーク構築のためワーキンググループを年6回開催し、事業対象者になる方についてや住まい候補物件等の意見交換を実施した。
- ・天竜区山東に一軒家平屋を確保し、H30年度、延べ6件の利用があった。
- ・事業の周知や啓発をするため、説明会等を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・H28年度、H29年度に引き続き、ワーキンググループを開催し、事業対象者になる方や住まい候補物件等についての意見交換を行い、高齢者の入居支援を計画どおり実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・支援ネットワーク構築のためワーキンググループの開催を引き続き行い、利用希望者の移転支援や生活支援を実施していく。

事業シート (事業名) 生活支援活動の場づくり事業(補助金)

◇事業目的・事業対象

自治会館など地域の中で活用できるスペースを活用し新総合事業を開始する団体に対し、施設及び設備整備費の一部を助成し、生活支援体制づくり事業の推進を図るもの。

◇事業の概要

対象施設: 公会堂、公民館、自治会館、集会所などの地域の公共施設など
 対象団体: 整備年度に住民主体通所型サービスの提供を開始し、3年以上継続してサービス提供できる団体
 対象経費: (ア)住民主体通所型サービスを実施するための施設の整備に要する費用
 (イ)住民主体通所型サービスを実施するために必要な備品の購入又は改修に要する費用
 補助内容: 1か所あたり500千円を限度に、施設整備費及び備品整備費を助成(補助率: 1/2)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市生活支援活動の場づくり事業費補助金交付要綱	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算				2,500	2,500
	決算				36	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源				36	2,500
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)					2,100	700
人工	正規				0.3	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.c	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

自治会館など地域の中で活用できるスペースを活用し、住民主体サービス(通所型)事業を実施する団体に対し、設備整備費等の一部を助成し、生活支援体制づくりの推進を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
申請(補助)件数(件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値				5	5	5	5	
実績値				1				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

対象施設:公会堂、公民館、自治会館、集会所などの地域の公共施設など
 対象団体:整備年度に住民主体通所型サービスの提供を開始し、3年以上継続してサービス提供できる団体
 対象経費:(ア)住民主体通所型サービスを実施するための施設の整備に要する費用
 (イ)住民主体通所型サービスを実施するために必要な備品の購入又は改修に要する費用
 補助内容:1か所あたり500千円を限度に、施設整備費及び備品整備費を助成(補助率:1/2)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

自治会館など地域の中で利活用できるスペースを活用し、住民主体サービス(通所型)事業を実施する団体に対し、設備整備費等の一部を助成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

自治会館など地域の中で利活用できるスペースを活用し、住民主体サービス(通所型)事業を実施する団体に対し、設備整備費等の一部を助成した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続き、自治会館など地域の中で利活用できるスペースを活用し、住民主体サービス(通所型)事業を実施する団体に対し、設備整備費等の一部を助成していく。

事業シート (事業名) 国庫支出金等精算返還金 【完了】

◇事業目的・事業対象

平成29年度に概算払にて交付を受けた国庫補助金について、対象経費の確定に伴い差額を返還するもの。

◇事業の概要

- 平成29年度在宅福祉事業費補助金・・・シニアクラブ支援事業に充当
「老人クラブ事業(国庫補助区分)」におけるシニアクラブに対する活動費交付金の交付件数が国庫補助金交付申請時の見込みを下回ったことに伴うもの。
【交付件数】△14クラブ(申請時:434クラブ→実績:420クラブ)
【事業費】 △1,532,300円(35,203,000円→33,670,700円)
【返還額】 受入済額11,734,000円－補助所要額11,223,000円＝511,000円
- 平成29年度介護保険事業費補助金・・・認知症施策推進事業(一般会計)に充当
「認知症施策普及・相談・支援事業(国庫補助区分)」における認知症の普及・啓発に係る事業費当が国庫補助金交付申請時の見込みを下回ったことに伴うもの。
【事業費】 △966,061円(2,171,651円→1,205,590円)
【返還額】 受入済額1,085,000円－補助所要額602,000円＝483,000円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H30	H30	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,193	1,414	28,964	994	
	決算	1,193	625	28,964	994	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	1,193	625	28,964	994	
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)						
人工	正規					
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 廃止 小項目 - / 事業費 人工

・H29年度に概算払にて交付を受けた国庫補助金について、対象経費の確定に伴う返還であり、返還をもって終了する。

事業シート (事業名) (新規)福祉避難所体制整備事業

◇事業目的・事業対象

災害時の要配慮者の避難先となる福祉避難所について、市職員や施設職員を対象に開設訓練や研修会を開催し、災害時に円滑に開設できる体制を整える。

◇事業の概要

- (1) 福祉避難所開設訓練
 - ・福祉避難所開設の実動訓練を実施し、災害時の円滑な開設体制を整える。
- (2) 研修会、制度説明会の開催
 - ・施設を対象に、講師による研修会の開催や、市職員による制度説明会を開催し、福祉避難所への理解を深める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算					300
	決算					
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源					300
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)						2,100
人工	正規					0.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

災害時の要配慮者の避難先となる福祉避難所について、市職員や施設職員を対象に開設訓練や研修会を開催し、災害時に円滑に開設できる体制を整えることで、福祉を促進する。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
実動開設訓練の実施施設(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					1	1	1	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
研修会の開催(回)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					1	1	1	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

R1からの新規事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

事業シート (事業名) 高齢者福祉運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,289	2,918	4,856	3,199	3,019
	決算	2,444		3,788	2,214	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,444	1,952	3,788	2,214	3,019
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	1,400	2,800	700	700
人工	正規	0.1	0.2	0.4	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

※関連するゴールなし

政策シート (政策名) 超高齢社会への対応

(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

- 10年後の目標**
- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
 - ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人と人とのつながりをつくる社会の実現

◇政策の概要

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇関連するSDGsのゴール

③保健									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	1,127,690	1,230,252	1,141,775	1,263,596	1,323,260
決算	1,001,083	1,104,495	1,037,727	1,172,153	
人件費(A)	32,620	52,500	65,520	74,340	74,200
報酬(B)	188	183	255	170	255
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,033,891	1,157,178	1,103,502	1,246,663	1,397,715

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
健康寿命の延伸 ※厚生労働省 発表 健康寿命	歳	男73.98 以上 女76.94 以上	目標	男73.08 女76.04	男73.18 女76.14	男73.28 女76.24	男73.38 女76.34	男73.48 女76.44
			実績	—	男73.19 女76.19	—	—	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

- ・健康寿命の延伸
- ・地域包括ケアシステムづくりの推進
- ・認知症対策の推進
- ・高齢者見守り・支援体制の拡充
- ・特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備の推進
- ・元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

第8次浜松市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画(計画期間:平成30～令和2年度)の初年度として、計画に掲げた政策及び重点施策を着実に推進することができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	介護保険事業	○	○	○		1,397,715	1,323,260	8.8			4.5	255
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,397,715	1,323,260	8.8			4.5	255

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 介護保険事業

◇事業目的・事業対象

高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりを推進する。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.51、56】【R1-R4重点戦略項目 No.22、23、124、125】
 ・介護予防・日常生活支援総合事業(従来の介護予防給付と同様の訪問型・通所型サービス、人員基準等を緩和したサービス、住民主体による生活援助等、移動支援や移動前後の生活支援のサービス提供の実施)
 ・住民主体訪問型サービス事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング事業、住民主体通所型サービス事業、住民主体訪問型サービス(移動支援)事業
 ・一般介護予防事業(65歳以上の高齢者が対象となる介護予防事業の実施)
 ・介護予防推進事業、自立体力診断事業、ロコモーショントレーニング事業、口腔ケア・栄養改善支援事業、ささえあいポイント事業、地域リハビリテーション活動支援事業
 【H27-H30重点戦略項目 No.41、42】【R1-R4重点戦略項目 No.97、98、101】
 ・包括的支援事業(地域包括支援センターの運営、総合相談支援業務等の実施)
 ・地域包括支援センター運営事業、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症施策推進事業、ケアマネジャー支援事業
 ・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施)
 家族介護継続支援事業、徘徊高齢者早期発見事業、介護用品支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	—	特別会計	自治事務(法令義務)	介護保険法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,127,690	1,230,252	1,141,775	1,263,596	1,323,260
	決算	1,001,083	1,104,495	1,037,727	1,172,153	
	国・県支出	460,723	525,547	531,006	601,895	666,003
	市債					
	その他	347,066	374,104	327,354	367,048	418,061
	一般財源					
	一般会計繰入金	193,294	204,844	179,367	203,210	239,196
人件費(報酬等)(千円)		188	183	255	170	255
人件費(千円)		32,620	52,500	65,520	74,340	74,200
人工	正規	4.3	6.1	7.6	8.9	8.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.9	3.5	4.4	4.3	4.5

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健	○ 3.8	⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

高齢者が地域で自立した生活を送ることができるよう、「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」のサービスが切れ目なく一体的に提供される「地域包括ケアシステム」づくりの推進。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
ロコモーショントレーニング実参加者数(人)					Ⅲ-3(3)ア		56	22, 124
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	2,500	5,000	10,000	12,500	15,000	17,400	19,000	
実績値	2,639	5,667	10,145	14,438				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
ささえあいポイント事業登録者数(人)					Ⅲ-3(2)ア		51	23, 125
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1,930	2,800	3,000	3,800	4,400	6,200	7,400	
実績値	2,520	2,860	3,335	3,849				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
地域包括支援センター総合相談件数(件)							41	97
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	32,200	32,400	37,400	38,500	45,750	46,500	47,000	
実績値	35,525	37,285	42,194	46,421				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
在宅医療・介護連携相談センター相談件数(件)							42	98
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	150	600	720	960	960	980	1,000	
実績値	173	617	369	727				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
市民・専門職に対する人生の最終段階における医療・ケアについての講演会・研修会の実施回数(回)※累計								101
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	—	—	—	—	10	40	60	
実績値	—	—	—	—				

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

<p>・介護保険運営経費(新総合事業の円滑な事務推進のための事務経費)</p> <p>【H27-30重点戦略項目 No.51、56】介護予防事業 介護予防推進事業、元気はつらつ教室事業、運動器の機能向上トレーニング教室事業、ロコモーショントレーニング事業、口腔ケア・栄養改善支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業、自立体力診断事業、ささえあいポイント事業</p> <p>【H27-H30重点戦略項目 No.41、42】</p> <p>・包括的支援事業(地域包括支援センターの運営、総合相談支援業務等の実施) 地域包括支援センター運営事業、認知症施策推進事業、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業(H28～政策体系の変更)</p> <p>・任意事業(高齢者及び高齢者を介護している家族を支援する事業等の実施) 家族介護継続支援事業、介護用品支給事業、シルバーハウジング等入居者安心確保事業、徘徊高齢者早期発見事業</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="checkbox"/> 計画通り</p> <p>・介護保険運営経費及び地域支援事業(介護予防事業、包括的支援事業、任意事業)について、計画どおり実施することができた。</p> <p>【ロコモーショントレーニング事業】 参加団体数: R1.5項確定 団体 参加者数: 14,438 人(目標値: 12,500人)</p> <p>【ささえあいポイント事業】 登録者数: 3,849人(目標値: 3,800人) 受入施設数: 653か所(目標値: —)</p> <p>【地域包括支援センター運営事業】 総合相談件数: 46,421件(目標値: 38,500件)</p> <p>【認知症地域支援推進員】 養成人数: 10人(目標値: 7人)</p>
--

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・介護予防・日常生活支援総合事業(新総合事業)の実施に伴い、新たな事業体系により生活支援体制づくりが図られた。

協議体の運営: 第1層(市域レベル) 1ヶ所、第2層(地域包括支援センター担当圏域レベル) 22ヶ所

住民主体サービスの実施: 訪問型サービス 2団体、通所型サービス 5団体、訪問型移動支援サービス 1団体

・ロコモーショントレーニング事業に関しては、対象者を、デイサービスなどに通っている虚弱者まで広げ実施することで目標値を達成することができた。

・ささえあいポイント事業の対象施設の拡大及び介護予防ポイントの新設など事業の拡充を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

新総合事業を含む新たな地域支援事業の体系に基づき事業を実施していく。今後、実施状況や他都市の状況等を踏まえ、必要な事業の創設や再編・統廃合を検討していく。

・地域包括支援センターは、高齢者人口に応じた職員配置をし増え続ける高齢者の総合相談窓口としての機能を果たすとともに、3専門職種チームアプローチによる相談支援体制を強化していく。

・ささえあいポイント事業の事務のシステム化や電子ポイント化等、効率化に向けて検討していく。

・市民が人生の最終段階において自分らしい生活が選択できるよう、ACP(アドバンスケアプランニング)について普及啓発を行う。

補助シート (事業名) 介護保険事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
22 ・ 124	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数15,000人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数15,800人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数16,600人	ロコモーショントレーニング事業 ・普及啓発 ・全市展開 参加者数17,400人
23 ・ 125	・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 ・介護予防ポイント ロコトレポイント、健診 ポイントの申請受付	・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 ・介護予防ポイント ロコトレポイント、健診 ポイントの申請受付	・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 ・介護予防ポイント ロコトレポイント、健診 ポイントの申請受付	・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 ・介護予防ポイント ロコトレポイント、健診 ポイントの申請受付
97	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務	地域包括支援センター ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケア マネジメント業務 ・介護予防マネジメント 業務
98	在宅医療・介護連携相 談センター ・医療・介護・福祉関係 者からの相談対応 ・在宅医療・介護連携推 進事業の実施、運営協 力 ・医療・介護・福祉関係 者との連携強化 ・相談窓口及び業務の 周知	在宅医療・介護連携相 談センター ・医療・介護・福祉関係 者からの相談対応 ・在宅医療・介護連携推 進事業の実施、運営協 力 ・医療・介護・福祉関係 者との連携強化	在宅医療・介護連携相 談センター ・医療・介護・福祉関係 者からの相談対応 ・在宅医療・介護連携推 進事業の実施、運営協 力 ・医療・介護・福祉関係 者との連携強化	在宅医療・介護連携相 談センター ・医療・介護・福祉関係 者からの相談対応 ・在宅医療・介護連携推 進事業の実施、運営協 力 ・医療・介護・福祉関係 者との連携強化
101	・ACPIに関する知識の普 及啓発にあたり、普及内 容と啓発方法について 検討、啓発冊子の作成 ・市民向け講演会、専門 職向け研修会の実施	・ACPIに関する知識の普 及啓発にあたり、普及内 容と啓発冊子の見直し ・市民向け講演会、専門 職向け研修会の実施	・ACPIに関する知識の普 及啓発にあたり、普及内 容と啓発冊子の見直し ・市民向け講演会、専門 職向け研修会の実施	・ACPIに関する知識の普 及啓発にあたり、普及内 容と啓発冊子の見直し ・市民向け講演会、専門 職向け研修会の実施

◇【H27～H30】事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
56	<p>ロコモーショントレーニング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発 ・全市展開 <p>参加者数2,500人</p>	<p>ロコモーショントレーニング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発 ・全市展開 <p>参加者数5,000人</p>	<p>ロコモーショントレーニング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発 ・全市展開 <p>参加者数10,000人</p>	<p>ロコモーショントレーニング事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及啓発 ・全市展開 <p>参加者数12,500人</p>
41	<p>地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護予防マネジメント業務 <p>三職種専門職員による相談体制の強化</p>	<p>地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護予防マネジメント業務 	<p>地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護予防マネジメント業務 	<p>地域包括支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援業務 ・権利擁護業務 ・包括的・継続的ケアマネジメント業務 ・介護予防マネジメント業務
42	<p>【開始期】 天竜区在宅医療・介護連携推進事業 4月～</p> <p>(仮)在宅医療・介護連携センターの設置 1月～</p>	<p>【基盤固め期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の仕組みづくり、関係機関との協議 ・医療・介護関係者等の研修 ・市民への普及啓発 ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託) 	<p>【発展期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急変時、看取り体制づくりの検討 	<p>【充実期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急変時、看取り体制の整備
51	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 対象地域の拡大(中山間地域→全市) 団体登録の受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録研修会の実施 ・施設ボランティア 施設登録の受付 ・地域ボランティア 団体登録の受付 ・介護予防ポイントの新設 ロコトレポイント、健診ポイントの申請受付